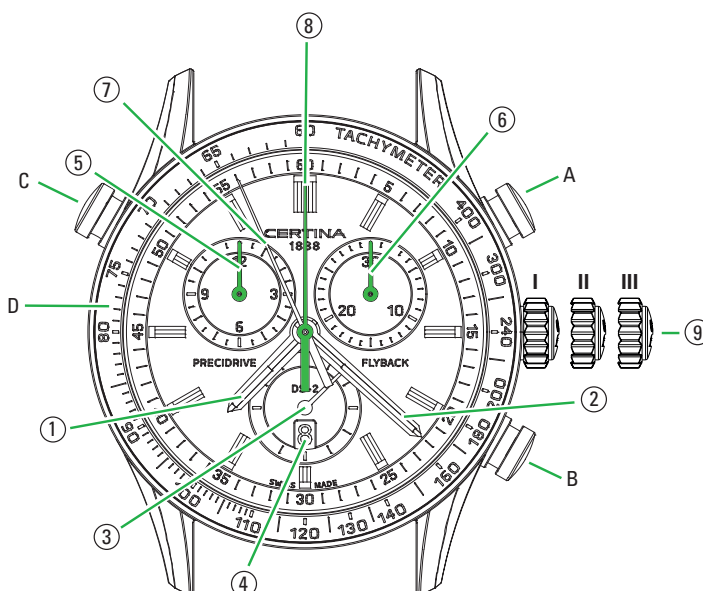


PRECIDRIVE フライバック クォーツ クロノグラフ

取扱説明書



表示／機能

時計：

- ① 時針
- ② 分針
- ③ 秒針 (スモールセコンド)
- ④ 日付表示

クロノグラフ：


- ⑤ 12時間積算計の針
- ⑥ 30分積算計の針
- ⑦ センター 60秒計の針
- ⑧ センター 60秒計の針 (スプリット)

⑨ 3段階式リューズ：

- I 通常位置 (締められた状態*, 引き出されていない)
- II 日付調整位置 (緩められた状態*, 中間まで引き出されている)
- III 時刻調整位置 (緩められた状態*, 完全に引き出されている)

- A スタート / ストップ プッシュボタン
- B フライバック / リセット プッシュボタン
- C スプリット (経過時間計測) スタート / ストップ プッシュボタン
- D タキメーター目盛り (モデルによる)

*** ねじ込み式リューズ モデル**



- IA 初期位置 (締められた状態, 引き出されていない)
- IB 通常位置 (緩められた状態, 引き出されていない)

はじめに

このたびはCERTINA®ブランドのPRECIDRIVEをお買い上げ頂きまして誠にありがとうございます。CERTINA®はスイスが誇る世界で最も高く評価されている時計のひとつです。高品質の素材や部品を使用し、細部に至るまで綿密に設計されたこの時計は、衝撃や温度変化に強く、防水性と防塵性を備えており、さらにDSシステムの利点も併せ持っています。

本取扱説明書はCERTINA®クォーツ クロノグラフ(ムーブメント PRECIDRIVE 251.294 KP)用です。PRECIDRIVEクロノグラフの調整、使用については取扱説明書の該当するモデルの部分参照してください。

お買い上げ頂きましたPRECIDRIVEクロノグラフは12時間までの継続時間計測が可能です。また、下記の機能を備えています。

- スタート/ストップ 標準機能
- ラリー加算(積算時間計測) 機能
- スプリット(経過時間計測) 機能
- フライバック(リセット不要のクロノグラフ再スタート) 機能

弊社では厳しい品質検査を行った上で製品をお届けしていますが、末長くご愛用いただくために、取扱説明書をよくお読みの上、お使いいただけますよう、よろしくごお願い申し上げます。

DSシステム(ダブルセキュリティ機構)には次のような特徴があります。

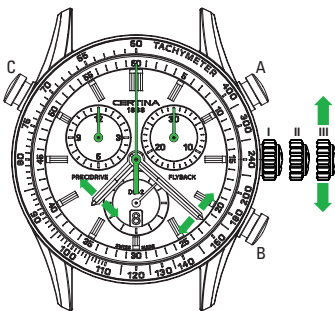
- 極めて高い耐衝撃性。
- 高耐久性のサファイアガラス。
- リューズを引いた状態でも変わることのない防水性を保証するリューズおよび巻真のガasket。
- 強化ケースバック。

調整のしかた

ねじ込み式リューズ モデル

防水性をさらに高めるために、一部のモデルには、ねじ込み式リューズ(9)を採用しています。時刻合わせや日付の調整をする場合、位置IIまたはIIIにリューズ(9)を引き出すには、リューズを緩めて位置IBにしておく必要があります。

重要：防水性を保つために、操作後は必ずリューズを締め直しておいてください。水中ではリューズ(9)は操作しないでください。



時刻合わせ

リューズ(9)を位置IIIまで引き出します。すると秒針(3)が停止し、クロノグラフ積算計の針(5、6、7、8)がダイヤルを一周します(調整モードに移行)。リューズ(9)を手前(6時方向)または奥(12時方向)に回して希望の時刻に設定します。時刻を合わせたらリューズを位置Iに押し戻します。時針(1)が12時を越えるときに日付(4)が変われば午前零時、変わらなければ正午です。

ご注意：リューズ(9)を位置IIIにすると秒が停止します。

正確に時刻を合わせる方法

正確な時間(ラジオ、テレビ、インターネットなどで示される時報)に合わせるには、秒針(3)が60を指した瞬間にリューズ(9)を位置IIIまで引き出します。秒針が停止します。時報が鳴る瞬間にリューズ(9)を位置Iに押し戻します。

図1

第2時間帯の変更または夏時間/冬時間の変更

リューズ(9)を位置IIまで引き出します。すると、クロノグラフ積算計の針(5、6、7、8)がダイヤルを一周します(調整モードに移行)。リューズ(9)を手前(6時方向)または奥(12時方向)に回して時を合わせます。

日付の即時修正

リューズ(9)を位置IIまで引き出します。すると、クロノグラフ積算計の針(5、6、7、8)がダイヤルを一周します(調整モードに移行)。リューズ(9)を手前(6時方向)または奥(12時方向)に回して日付を合わせます。この操作の間は、時針だけが動きます。午前零時を過ぎるときに日付(4)が変わります。最後にリューズ(9)を位置Iに押し戻します。

タキメーター(タキメーター付きモデル)

タキメーターによって移動するものの平均速度が計測できます。プッシュボタン(A)を押すと時間計測がスタートします。1 km 過ぎたら、プッシュボタン(A)を押してください。時間計測がストップします。重なったクロノグラフ用の秒針(7と8)がタキメーター目盛り(D)上でそのときに指している数字が時速を表します。

クロノグラフのリセット

必要に応じて、時間計測を開始する前に、クロノグラフ積算計の針 (5、6、7、8) をリセットする必要があります。そのためには、リューズ (9) を位置 II まで引き出します。すると、積算計の針 (5、6、7、8) がダイヤルを一周します (調整モードに移行)。プッシュボタン (A) を押すたびに、針 (アクティブな針) がダイヤルを一周します。プッシュボタン (B) を続けて押すことで、針を元の位置に戻すことができます。

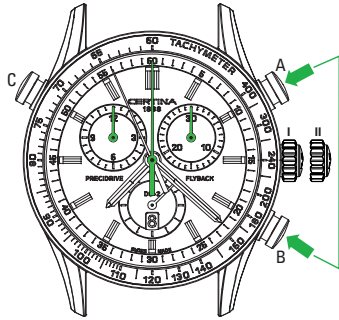


図 2

針がアクティブになる順番 :

1. センター 60 秒計の針 (スプリット) (8)
2. センター 60 秒計の針 (7)
3. 30 分積算計の針 (6)
4. 12 時間積算計 (5)

A リセットする積算計の選択 (選択された針が移動)

B 針の位置の修正 :

短く押す : 1 刻み

長く押す : 連続的に高速回転

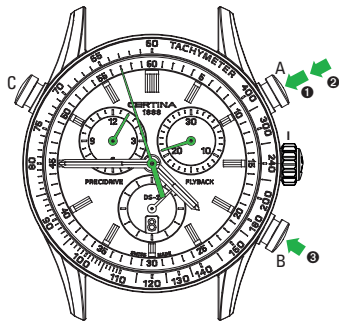


図 3

単純時間計測

「単純時間計測」機能は単一計測の機能です。

A スタート

A ストップ

時間の読み取り (図 3 の場合)

- 1 時間

- 21 分

- 57 秒

B リセット

ご注意 : 時間計測の前には必ず、クロノグラフ針を元に戻してください。

必要であれば、**クロノグラフのリセット**の章を参照してください。

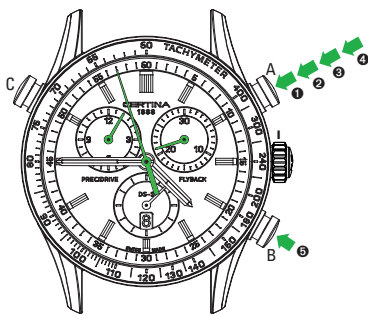


図 4

ラリー加算 (積算時間計測) 機能

ラリー加算機能は連続計測ができ、計測を一時停止させる機能です。計測途中でリセットする必要はありません (但し、停止中の時間は含みません)。各計測結果がそれ以前の計測時間に加算されます (図 4)。

A スタート

A ストップ 時間の読み取り

A 再スタート

A ストップ 時間の読み取り

B カウンターのリセット

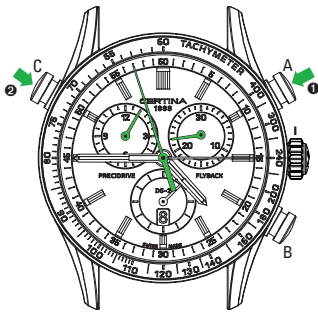


図 5

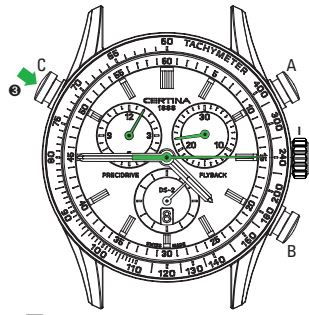


図 6

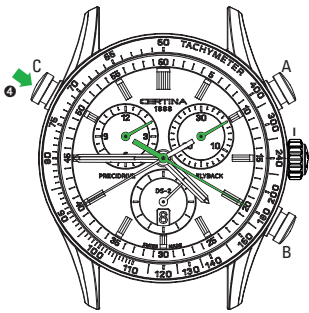


図 7

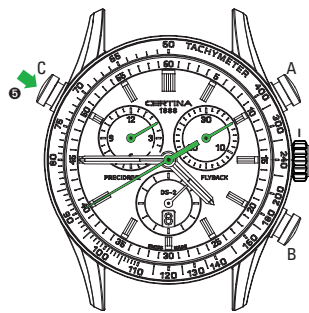


図 8

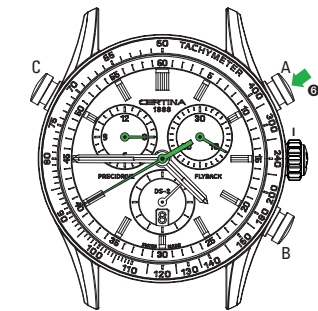


図 9

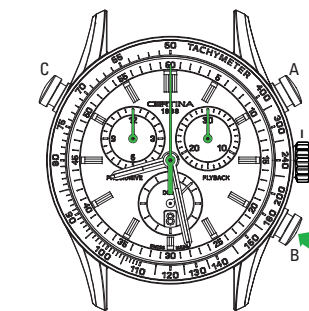


図 10

スプリット (経過時間計測) 機能

スプリット機能により、時間計測中でも針 (8) を一時的に停止することができ、全体時間と途中の経過時間を計測することができます。再スタート時に、クロノグラフ針が全体の経過時間まで進みます。

A スタート

C ストップ

途中の経過時間 1 の読み取り (図 5 の場合)

- 1 時間

- 22 分

- 57 秒

C 再スタート (針が追いつく) (図 6)

C ストップ

途中の経過時間 2 の読み取り (図 7 の場合)

- 2 時間

- 5 分

- 20 秒

C 再スタート (針が追いつく) (図 8)

A ストップ

最終的な時間の読み取り (図 9 の場合)

- 3 時間

- 10 分

- 40 秒

B カウンターのリセット (図 10)

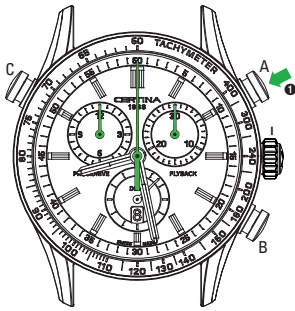


図 11

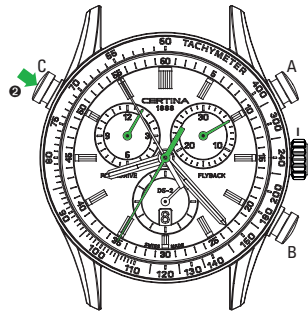


図 12

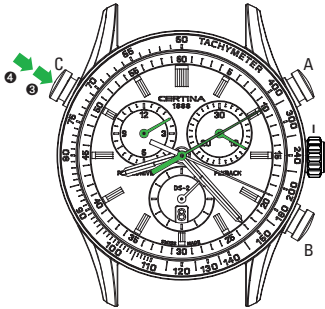


図 13

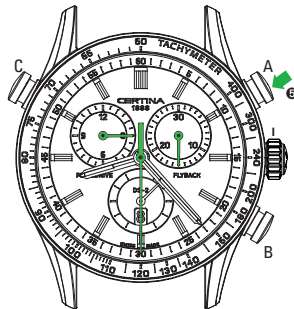


図 14

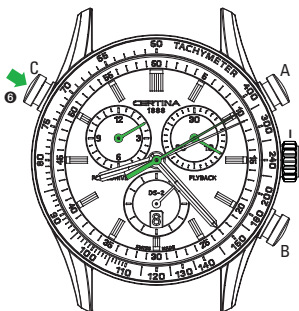


図 15

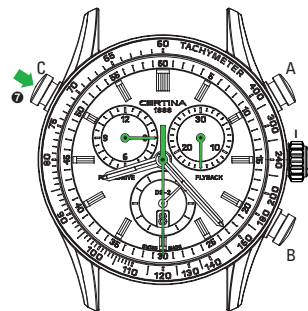


図 16

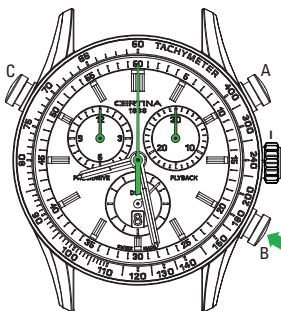


図 17

メモ機能

メモ機能を使うと、最後にメモリされた途中の経過時間(針(8))の表示と、全体の経過時間(重なった針(7)と(8))の再読み取りが可能です。

A スタート

C ストップ

途中の経過時間 1 の読み取り (図 12 の場合)

- 1 時間
- 5 分
- 35 秒

C 再スタート

C ストップ

途中の経過時間 2 の読み取り (図 13 の場合)

- 2 時間
- 10 分
- 10 秒

A ストップ

全体の経過時間の読み取り (図 14 の場合)

- 3 時間
- 15 分
- 30 秒

C ストップ

最後にメモリされた途中の経過時間の再読み取り (図 15 の場合)

- 2 時間
- 10 分
- 10 秒

C ストップ

メモリされた全体の経過時間の再読み取り (図 16 の場合)

- 3 時間
- 15 分
- 30 秒

B カウンターのリセット (図 17)

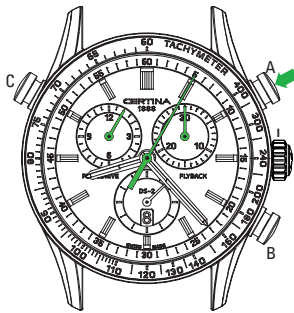


図 18

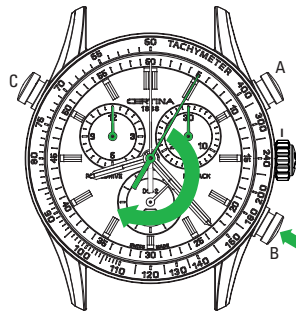


図 19

フライバック機能

フライバック機能を使うと、針のリセットと同時に、ただちにクロノグラフを再スタートすることができます。

- A スタート
- B フライバック

技術情報

巻き上げ

クォーツウォッチは巻き上げの必要はありません。

PRECIDRIVE

CERTINA®ブランドのクォーツクロノグラフPRECIDRIVEは、クォーツの比類ない精度を備えているだけでなく、気温の変化に対して歩度が補正され(気温補正)、湿度に左右されないという特徴も備えています。これにより、年間 +/- 10秒程度という高い精度が実現されています(通常の条件下で使用した場合)。

自動較正

針を動かすために使用されているPOWERDRIVE モーターにより、極めて精度の優れた高速の動きが可能になっています。正しい作動を確保するため、1時間に1回、センター積算計の針(7および8)で自動較正が行われます。

- 前/後への1刻みの動き
または
- ダイアルを一周(2本の針が交互に)

これらの動きはクロノグラフの正常な機能の一部をなしており、目で確認可能です。

E.O.L. (バッテリー切れ予告機能)

秒針(3)が4秒ごとにジャンプするようになったら、電池が寿命に近づいていることを示しています。早めに電池交換をしてください。

使用上のご注意

お買い上げの時計(レザーストラップは除く)は、柔らかい布と石鹸水を使用して定期的にクリーニングすることをおすすめします。海水に浸った後は、真水で洗うことをおすすめします。ステンレス製であっても、汗や海水による塩分が、サビや腐食の原因になります。

温度や湿度の変化が激しい場所、直射日光の当たる場所、強い磁気のある場所に時計を放置しないでください。

3、4年に1回はCERTINA®指定サービスセンターで時計の点検を受けられることをおすすめします。アフターサービスは、お買い求めの販売店またはCERTINA®正規取扱店にご用命ください。


数週間、数ヶ月間など長期間時計を使用しない場合は、リユーズ(9)を位置IIIに引き出して保管することをおすすめします。それによってモーターへの電気供給が中断され、電池寿命が大幅に延長されます。

電池交換

CERTINA®ブランドのクロノグラフPRECIDRIVEの電池寿命は約2年間です。電池が切れたら、電池交換を行ってください。E.O.L.(バッテリー切れ予告機能)付きの時計は電池切れが近くなると、秒針が4秒運針を行います。そうしましたら、早めに電池交換することをおすすめします。

電池のタイプ: ボタン型酸化銀電池 1.55 V, N° 394, SR 936 SW

寿命がきたクォーツ時計の回収と取扱いについて*

 この記号は、本製品を家庭用廃棄物と共に処分してはいけないことを表示しています。本製品は、各地域の認定回収システムに返還される必要があります。この手続きを守ることで、環境および人々の健康の保護に貢献することになります。物のリサイクルは、自然資源の保全に役立ちます。

* EU加盟国およびこれに対応する法律がある国に適用されます。